

学習指導要領		都立竹台高校 学カスタンダード「応用」
<p>(1) 現代の政治</p> <p>ア 民主政治の基本原則と日本国憲法 日本国憲法における基本的人権の尊重、国民主権、天皇の地位と役割、国会、内閣、裁判所などの政治機構を概観させるとともに、政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務の関係、議会制民主主義、地方自治などについて理解させ、民主政治の本質や現代政治の特質について把握させ、政党政治や選挙などに着目して、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について考察させる。</p> <p>イ 現代の国際政治 国際社会の変遷、人権、国家主権、領土などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献について理解させ、世界平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自然権に基づく国家・政府の在り方が、現代の議会制民主主義の基盤となっていることなどを理解する。 ・法の支配とは、為政者による恣意的支配を排除し、合理的な議論に基づく統治を目指すものであることを理解する。 ・日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権、平和主義を三大原則としていることについて理解する。 ・日本の三権分立の仕組みについて、その在り方と課題について理解する。 ・権利相互の衝突に際しては、司法による調停や判決が下されることを理解する。 ・議会制民主主義について、制度の背景にある民主政治の原理との関係を踏まえて理解する。 ・日本の地方自治制度は直接民主制の考え方がより多く取り入れられていることや課題について理解する。 ・日本の選挙制度やその課題を理解する。 ・国際社会の変遷のなかで、環境、人権、貿易などの分野で、各国の対立が発生する一方、問題解決のための取組が進められていることを理解する。 ・身近な政治への興味や関心を高める。 <ul style="list-style-type: none"> ・主権国家の在り方と国際法の意義について理解するとともに、国際紛争の解決やその課題について理解する。 ・人権、国家主権、領土に関する国際法上の規定や、国際平和に向けた各国の協調的な取組が重要であることを理解する。 ・日本国憲法第9条に基づく、我が国の安全保障について理解すると共に、国際連合における集団安全保障の理念などについて説明できる。 ・冷戦後、民族紛争等が拡大している現状を踏まえて、近年の国際紛争の諸要因について理解する。 	

学習指導要領		都立竹台高校 学カスタンダード「応用」
<p>(2) 現代の経済</p>	<p>ア 現代経済の仕組みと特質 経済活動の意義、国内経済における家計、企業、政府の役割、市場経済の機能と限界、物価の動き、経済成長と景気変動、財政の仕組みと働き及び租税の意義と役割、金融の仕組みと働きについて理解させ、現代経済の特質について把握させ、経済活動の在り方と福祉の向上との関連を考察させる</p> <p>イ 国民経済と国際経済 貿易の意義、為替相場や国際収支の仕組み、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について理解させ、グローバル化が進む国際経済の特質について理解させ、国際経済における日本の役割について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資本主義経済と社会主義経済の特徴について理解する ・生産された財やサービスを効率的に分配するための仕組みとして、現代における市場経済が発達してきたことを理解する。 ・経済のグローバル化の進展に伴う諸課題の発生を踏まえて、現代の国民経済の構成主体である家計、企業、政府のそれぞれの役割について理解する。 ・インフレーションやデフレーションの発生が国民生活に与える影響について理解する。 ・財政の役割や消費税増税に関わる問題などを理解する。 ・中央銀行の役割、金融政策の手段について理解する。 ・通貨供給量、信用創造について理解する。 ・所得再分配政策について理解する。 ・自由貿易をTPPと関連付けながら理解する。 ・変動為替相場制、円高円安について理解する。 ・グローバル化が進む世界経済の現状を、国際金融危機と関連付けながら理解する。 ・EUの拡大とその内部での経済格差について、近年の動向を踏まえて理解する。 ・南北問題の原因とその解決策及び南南問題と呼ばれる新たな経済的格差問題について理解する。

学習指導要領		都立竹台高校 学カスタンダード「応用」
<p>(3) 現代社会の諸課題</p>	<p>ア 現代日本の政治や経済の諸課題 少子高齢社会と社会保障、地域社会の変貌と住民生活、雇用と労働をめぐる問題、産業構造の変化と中小企業、農業と食糧問題などについて、政治と経済とを関連させて探究させる。</p> <p>イ 国際社会の政治や経済の諸課題 地球環境と資源・エネルギー問題、国際経済格差の是正と国際協力、人種・民族問題と地域紛争、国際社会における日本の立場と役割について、政治と経済とを関連させて探求させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢社会における社会保障の在り方について、具体的な課題を理解する。 ・地域社会の特色ある発展を促すには、地方分権を推進するための政策や制度が必要であることを理解する。 ・雇用と労働を巡る問題について、非正規労働の現状を知り、雇用の安定に向けて、具体的な課題を理解する。 ・農業と食料の問題について、「食料安全保障」の視点から今後のあるべき姿を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・資源エネルギー問題について、福島第一原発事故と関連付けて、持続可能な社会の実現を図るためには、どのように取り組むべきか理解する。 ・国際経済格差の是正に向けて、様々な取組が行われていることについて理解する。 ・人種問題や民族問題が地域紛争や国際紛争に発展した事例を基に、その背景や原因、国際社会への影響などについて理解する。 ・各国が自国の経済的利益のみを追究するのではなく、世界全体の環境、平和と安全、教育などに貢献することが重要であることについて理解する。